

長文が読み取れない子

四年の蓄積が育んできた

英語学習における最も難関といふべき長文読解。知らない単語に困ってつまずき、文頭に戻って……の繰り返しでなかなか前に進めない。そんなことから苦手に思うお子さんも多いだろう。

そこで今回、長文読解のコツを伝授。そもそも東京・渋谷区にある平岡塾を訪ねた。四年の伝統を持つ英語専門塾で、創立以来は80%以上の東大合格率を誇る名門塾だ。

市販の教材のほか、特製のプリントを使用するが、このプリントに長年のノウハウが凝縮されている。これをノート代わりに生徒各自が書き込みを加え、ファイルすることで自分だけの文法書が完成する。さらに中一から「ドン・キホーテ」の英文を読解テキストとして用いるなど、授業は総じてハイレベル。記者は高一年先取りしているように感じた。

まず、授業のテンポがいい。生徒が英文を読み上げ、予習してきた訳文を発表する。すかさず先生が発音と訳文の双方をチェックし、直しを入れる。予習してきた内容を授業で復習しているといった感じだ。

読み解・英作文・文法の三つを柱にしているが読み書きに偏ることではなく、リスニング、スピーキングの時間もあり、バランスの取れた英語学習を行っていた。

こんな平岡塾で一〇年以上教鞭をとる

the price of the benchmark 10-year government bond dropped ... in the wake of recovery in equi...
area rate
area rate
Taiwan (\$)

english

白土珠穂先生に長文読解のポイントを聞いてみた。すると「読解四原則」と呼ぶものがあると白土先生は言う。

「第一に『読む』と『訳す』は違います。

『読む』とは内容を理解して頭の中に映像を描くこと。『訳す』とは日本語に置き換えることです。長文読解ではスピードも重要。そのためには英文をとにかく前から読む。後ろから読む言語などありません。蚊取り線香のようグングルたどついた先に結論がある日本語と違い、結論からまっすぐ伸びる直線的な文が英語。慣れればいちいち日本語の語順に直すよりも早く、理解しやすいのです」

長文読解 文字通り「読んで解ればよいのだ。

「前から読むときに注意したいのが、主節の後にくる『when』『until』『while』などの節。日本人は『○○のとき』『○○まで』などを先に言いたくなり、後ろから前に戻りがちですが、ネイティブの発想としていうわけだ。

そして三つ目。簡単そうで意外と難しいのが、『and』と『but』だ。どうだ。

「等位接続詞の『and』は『A and B』のよ

うに等しい位のものを結びますが、『You and I』のように短い単語を結ぶ場合、長い句や節を結ぶ場合もある。それが複雑にならいくと、何と何が並列になつているのか、読み違えてしまうのです。



英語は毎日コツコツ継続



平岡塾
白土珠穂
先生

常に前から順番に読むクセをつけよう

また、「but」には〇種類以上の用法があるのに『しかし』のイメージが強すぎて、その誤用がちです」

最後の四つ目は、(コンマ)。英語のなかでも脇役的印象なのだが……。『同じ役ではないけれど要注意です』



読解4原則

- 1 英文の流れに逆らわない(「読む」と「訳す」は違う)
- 2 修飾語句に惑わされない(英文の骨組みを見極める)
- 3 等位接続詞に注意する
- 4 「(コンマ)」の役割に注意する

「…してついに」

Peter asked me to marry him a hundred times, until I said yes.
ピーターは／頼んだ／私に／彼と結婚することを／何度も何度も／ついに／私は／言った／はいともお話を聞いた。

We lived in a village that looked across the river and the plain to the mountains.
私たち／住んでいた／村に／向く／川と野原を横切って／山々のほうに 修飾語句

Our life was simple and plain and we ate nothing but bread and butter.
私たちの生活は／質素で飾り気なく／だから／私たちは／食べた／何も～ない／バター付きパン以外

日本語例文: ピーターが何度も何度もプロポーズしてきて、ついに私は承諾した。私たちは、川と野原の向こうに山々を望む村に住んでいた。二人の生活は質素で飾り気のないもので、食べるものはバターをぬったパンしかなかった。

*例文は平岡塾の読解4原則をもとに、編集部で作成しています。

これらアドバイスを活かし、長文読解にチャレンジしてみようか。

「いきなり論説文よりも物語がいいでしょ。海外版の難度別CDブック等も販売されているのでお子さんの興味に合う

ては「後付け」です。一方、訳が求められている場合は、日本語のルールのついている場合、日本語のルールのついて自然な語順にすればいいのです。英文の構造はシンプルで、見やすく複雑に見えるものも、たぶん括弧で包んでしまいます。それが、おのずと英文の骨組みが浮かび上がります。枝葉に隠れて見えにくい幹をいかに早く見つけられるかが鍵、前置詞+名詞、などのかたまりをいつていうわけだ。

そして三つ目。簡単そうで意外と難しいのが、『and』と『but』だ。どうだ。

「等位接続詞の『and』は『A and B』のよ

うに等しい位のものを結びますが、『You

and I』のように短い単語を結ぶ場合、

長い句や節を結ぶ場合もある。それが複雑にならいくと、何と何が並列になつているのか、読み違えてしまうのです。

村重真紀=構成 大森大祐=撮影